

時代の変化に対応し、市民に開かれた議会の実現をめざして

～新議会開会～

このたびの令和元年台風第19号による豪雨は、本市に甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。議会としましても、一日も早い復旧・復興に向け、最大限努めてまいります。

9月15日執行の市議会議員選挙後初の市議会臨時会が10月8・9日に開かれ、正副議長をはじめ各委員会の構成が決まり、新たな議会の活動が始まりました。

少子高齢化による本格的な人口減少社会を迎え、議会の役割はますます重要となってきました。議員一人ひとりが時代の変化に対応するとともに、市民ニーズを的確に把握し、市民に分かりやすく、開かれた議会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

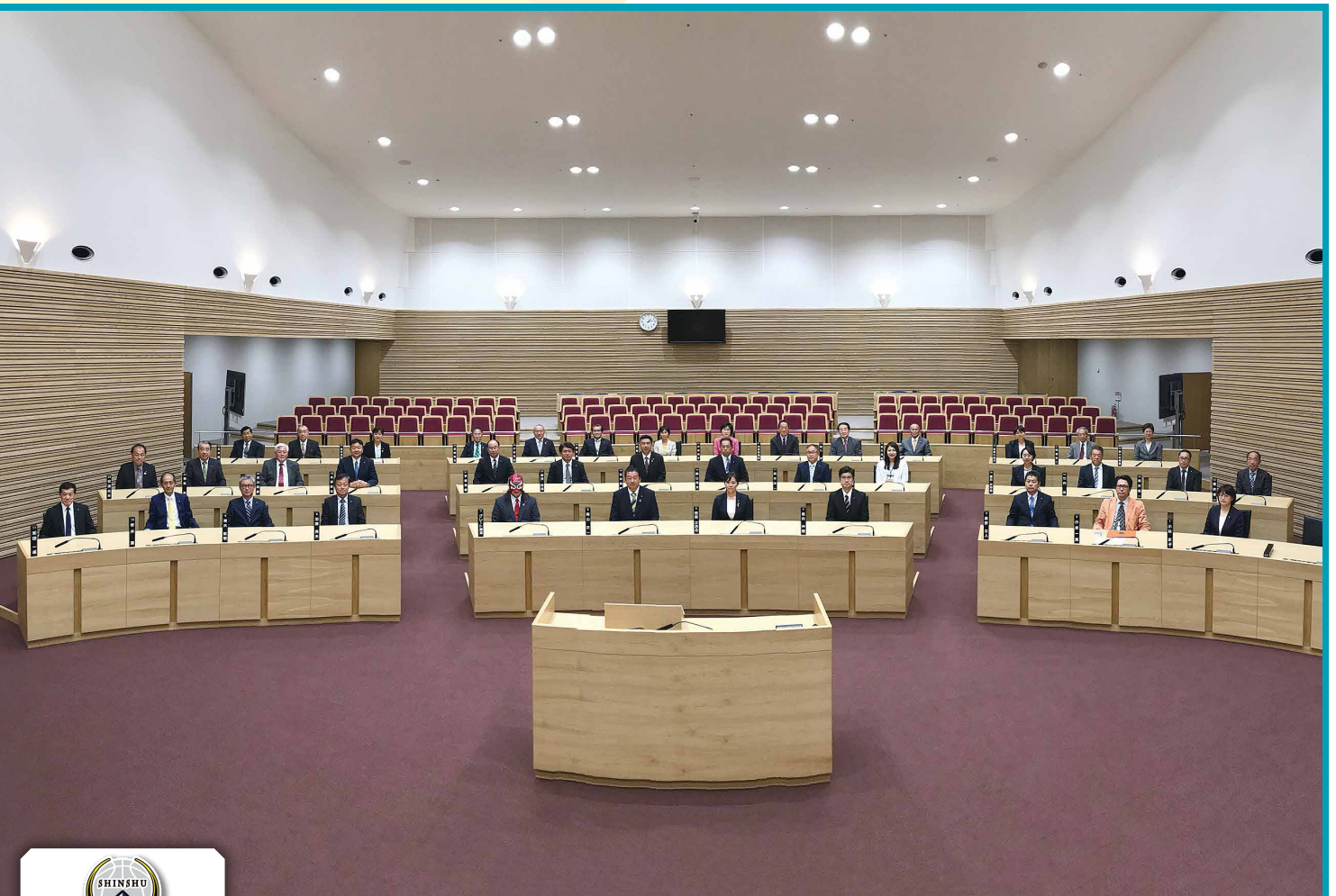
ながのご縁を  信都・長野市

ながの だより 市議会

令和元年
9月定例会
10月臨時会
NO.108

■主な内容

- ◆議長挨拶、新しい議会構成①…2
- ◆9月定例会・10月臨時会の審議内容…3～4
- ◆市政に関する質問の要旨…5～9
- ◆常任・特別委員会のうごき…10～11
- ◆新しい議会構成②……………裏表紙



「本誌は再生紙を使用しています」



12月の
ホームゲーム

【ホワイトリング】越谷アルファーズ戦12/11(水)19時、ライジングゼファー福岡戦12/14(土)18時30分、ライジングゼファー福岡戦12/15(日)14時 【ことぶきアリーナ千曲】Fイーグルス名古屋戦12/28(土)開始時刻調整中、Fイーグルス名古屋戦12/29(日)14時

市議会臨時会

10月8・9日 開催

新しい議会構成①

10月市議会臨時会で決定した議長、副議長、委員会構成は次のとおりです。

※常任委員会の構成は裏表紙に議員の顔写真とともに紹介しています。◎委員長、○副委員長、他の委員の記載順は、座席番号の順による。

市議会議員選挙後初の市議会臨時会が10月8日から9日までの2日間開かれ、議会人事を決定するとともに、令和元年度一般会計補正予算案をはじめとした議案を審議し、原案どおり可決しました（4頁参照）。

新しい議会人事

9月15日の長野市議会議員選挙では、市民の期待を受けて三十九人の新議員が誕生しました。

議員改選後に開催された10月市議

会臨時会では、議長・副議長選挙が行われ、議長に小泉栄正議員、副議長に宮崎治夫議員が選出されました。また、下段と裏表紙に掲載のとおり、委員会構成を決定するなど、新議員による新議会が活動を始めました。

10月臨時会で決定した一般会計補正予算は、本年7月の集中豪雨により被災した林道の復旧に要する経費で、歳入歳出それぞれ一千六百三十万円を追加し、一般会計予算総額は一千五百三十八億二千九百二十六万一千円となりました。また、中条総合市民センター建設建築主体工事、もんぜんぷら座耐震補強外建築工事及び国補朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事の契約が締結されました。

新議員による新議会スタート

正副議長など新たな議会構成を決定



開かれた議会を目指して

議長 小泉 栄正

市民の皆様には、日ごろから市議会に対し、格別のご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

去る10月市議会臨時会におきまして、議長に選出されました。その責任の重さを改めて痛感しております。

過日の令和元年台風第19号によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。皆

様が一日も早く安心して暮らせる生活を取り戻せるよう支援してまいります。

人口減少と少子高齢化が進み、社会構造が大きく変化する中で、二元代表制の一翼を担う議会や議員が果たすべき役割や責務が、ますます重要となっております。依然として本市の財政状況は厳しく、人口減少社会への対応、子育て支援の推進、産業の振興、中山間地域の活性化などの課題が山積して

おります。市議会といたしましても、これらの課題に立ち向かいながら、住んでよかったと思えるまちの実現のため、その重責を果たしてまいります。また、身近で開かれた議会運営と機能の充実を進め、市民の皆様の信託にこたえてまいります。

今後とも、市民の皆様には、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議長 小泉 栄正
副議長 宮崎 治夫

議会運営委員会

- ◎若林 祥 ○手塚 秀樹 黒沢 清一
- 滝沢 真一 塩入 学 布目裕喜雄
- 近藤 満里 北澤 哲也 西沢 利一
- 三井 経光

特別委員会

- ◎塩入 学 ○手塚 秀樹 近藤 満里
- 堀内 伸悟 グレット無茶 西脇かおる
- 滝沢 真一 阿部 孝二 青木 敏明

小・中学校の在り方調査研究特別委員会

- ◎寺沢さゆり ○布目裕喜雄 三井 経光
- 黒沢 清一 小林 史子 西沢 利一
- 小林 秀子 東方みゆき 市川 和彦

まちづくり・公共交通対策調査研究特別委員会

- ◎小林 義直 ○北澤 哲也 小泉 一真
- 鈴木 洋一 若林 祥 桜井 篤
- 松木 茂盛 箱山 正一 野々村博美
- 松井 英雄

農林業振興対策特別委員会

- ◎松田 光平 ○竹内 茂 和田 一成
- 勝山 秀夫 佐藤久美子 加藤 英夫
- 金沢 敦志 鎌倉 希旭 倉野 立人

決算特別委員会

- ◎市川 和彦 ○金沢 敦志 堀内 伸悟
- 野々村博美 竹内 茂 桜井 篤
- 鎌倉 希旭 鈴木 洋一 倉野 立人
- 和田 一成

議会報編集委員会

- ◎北澤 哲也 ○金沢 敦志 野々村博美
- 加藤 英夫 西脇かおる 小林 史子
- 鎌倉 希旭 勝山 秀夫

市議会定例会

会期
7月31日
8月19日

9月市議会定例会が7月31日から8月19日までの二十日間の会期で開かれ、令和元年度一般会計補正予算などの議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました（4頁参照）。補正予算など主な議案の概要について紹介します。

補正予算の内容

9月定例会で決定した一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれに六億四百三十二万二千円を追加し、一般会計予算総額は千五百三十八億二千百九十六万千円となりました。主な内容は次のとおりです。

資源再生センター建屋復旧に要する経費

6月補正に引き続き、資源再生センター火災の復旧経費として、鉄骨ブレースの交換や補強、外壁補修等の建屋復旧及び火災時の迅速な対応を図るためのごみピット遠方監視設備設置に要する費用が追加されました。（二億四、六七〇万円）

幼児教育・保育の無償化に要する経費

本年10月からの幼児教育・保育の

無償化の実施に伴い、幼稚園就園奨励費補助金等の不要となる事業費を減額し、新たに負担が生じる私立幼稚園、認定こども園等の保育料相当額及び事務費等を増額する幼児教育・保育の無償化に要する経費が追加されました。（四億四、五七五万千円）

住民記録システム改修に要する経費

印鑑登録原票及び印鑑登録証明書へ旧氏の記載を可能とする住民記録システムの改修に要する経費が追加されました。（五七三万千円）

令和元年度長野市国民健康保険特別会計補正予算

国民健康保険被保険者証と70歳以上の被保険者が受診時に提示を求められる高齢受給者証の一体化が、令和2年8月発行分から県内一斉実施となるため、一体化に伴うシステム

改修に要する経費が追加されました。（二、四七八万三千円）

主な議案の内容

長野市支所設置条例を一部改正

長野市芹田支所を長野市芹田総合市民センター内に移転することに伴い、改正されました。



芹田総合市民センターの竣工式典（令和元年7月）

指定管理者が管理する

長野市営運動場条例を一部改正

真島総合スポーツアリーナに、地域密着型プロスポーツチームを対象とした新たな料金区分を設定すること及び健康レクリエーションセンター利用料金の時間帯区分等を見直すことに伴い、改正されました。



長野市公文書館が移転した長野市役所若里分室（旧フルネットセンター）

長野市公文書館の設置及び管理に関する条例を一部改正

長野市公文書館を長野市役所若里分室へ移転することに伴い、改正されました。

長野市老人憩の家設置及び管理に関する条例を一部改正

長野市松代老人憩の家を旧長野市保健保養訓練センターの建物に移転することに伴い、改正されました。

人事案に同意

人権擁護委員候補者には五人を推薦すること、固定資産評価審査委員会委員には一人を選任することに、それぞれ同意しました。

一般会計6億432万2千円を補正

一般会計予算額は1,538億1,296万1千円に

10月臨時会 審議結果一覧

※○=賛成×=反対
 ※議案名等の「長野市」「～について」等は一部省略して表記しています。

件名	会派別賛否					議決の状況	件名	会派別賛否					議決の状況			
	新友会	共産党	公明党	改革ネット	無所属A			無所属B	無所属C	新友会	共産党	公明党		改革ネット	無所属A	無所属B
市長提出議案等(11件)	令和元年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	可決	報告(6件)	専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	可決		専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	可決
	市職員の分限に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決		専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	可決
	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決		専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	可決
	廃棄物の適正な処理の確保に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決		専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	可決
	消防団員の定員及び任用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決		健全化判断比率の報告	○	○	○	○	○	○	可決
	工事請負契約の締結(中条総合市民センター建設建築主体工事)	○	○	○	○	○	可決		資金不足比率の報告	○	○	○	○	○	○	可決
	工事請負契約の締結(もんぜんぶら座耐震補強外建築工事)	○	○	○	○	○	可決	議長選挙	○	○	○	○	○	○	当選	
	工事請負契約の締結(国補朝陽小学校屋内運動場改築外建築主体工事)	○	○	○	○	○	可決	副議長選挙	○	○	○	○	○	○	当選	
	損害賠償額を定めること	○	○	○	○	○	可決	特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	可決	
	監査委員の選任	○	○	○	○	○	同意	常任委員会・議会運営委員会閉会中継続調査申出	○	○	○	○	○	○	可決	
認定(1件) 平成30年度一般会計、各特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	継続審査	長野広域連合議会議員選挙	○	○	○	○	○	○	当選		
報告(1件) 専決処分の報告(交通事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	報告月日 10月9日	千曲衛生施設組合議会議員選挙	○	○	○	○	○	○	当選		
							須高行政事務組合議会議員選挙	○	○	○	○	○	○	当選		
							決算特別委員会の設置及び認定第2号の付託	○	○	○	○	○	○	可決		
							決算特別委員会閉会中継続調査申出	○	○	○	○	○	○	可決		

会派名等	議員数	所属議員名														
新友会	19	三井 若林 北澤 加藤	経光 祥 哲也	小林 金沢 グレート	義直 秀樹 敦志	小泉 寺沢 和正	宋正 一成	宮崎 松田 西脇	治夫 光平 篤	西沢 市川 青木	利一 和彦 敏明	公明党	5	近藤 松井 堀内	満雄 英雄 伸悟	小林 勝山 秀夫
共産党	6	野々村 博美 滝沢 真一	阿部 孝二	佐藤 久美子	黒沢 清一	竹内 茂	無所属A	1	倉野 立人	無所属B	1	小泉 一真	無所属C	1	小林 史子	
改革ネット	6	松木 茂盛 東方 みゆき	塩入 学	布目 裕喜雄	鈴木 洋一	鎌倉 希旭										

9月定例会 審議結果一覧

※○=賛成×=反対
 ※議案名等の「長野市」「～について」等は一部省略して表記しています。

件名	会派別賛否					議決の状況	件名	会派別賛否					議決の状況		
	新友会	共産党	公明党	改革ネット	無所属A			無所属B	新友会	共産党	公明党	改革ネット		無所属A	無所属B
市長提出議案等(47件)	令和元年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	可決	議案	財産の取得(高規格救急自動車(中央消防署及び安茂里分署配置))	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	可決		財産の取得(高度救命処置用資機材(中央消防署及び安茂里分署配置))	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	可決		市道路線の認定及び変更	○	○	○	○	○	可決
	令和元年度下水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	可決		工事請負契約の締結(国補市営住宅返目団地25-1号棟全面改善建築工事)	○	○	○	○	○	可決
	支所設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決		損害賠償請求調停事件に関する和解	○	○	○	○	○	可決
	長野市公文書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決		平成30年度産業団地事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	可決
	印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決		平成30年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	可決
	印鑑条例及び手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決		平成30年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	可決
	人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決		工事請負契約の締結(もんぜんぶら座耐震補強外機械設備工事)	○	○	○	○	○	可決
	会計年度任用職員の勤務時間及び休暇等に関する条例	○	○	○	○	○	可決		固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	同意
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	○	○	○	○	○	可決	認定(1件) 平成30年度各公営企業会計決算の認定	○	×	○	○	○	認定	
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決	諮問(1件) 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	同意	
	長野市保育所の設置及び管理に関する条例及び長野市立幼保連携型認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決	報告(10件)	専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	可決
	長野市老人憩の家設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決	専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	可決	
	介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決	専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	可決	
	長野市鬼無里若者コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例及び長野市鬼無里ふさこの館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	可決	専決処分の報告(交通事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	可決	
	長野市飯綱高原スキー場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	可決	専決処分の報告(物損事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	可決	
	長野市飯綱高原屋外市民ホール等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決	専決処分の報告(交通事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	可決	
	指定管理者が管理する市営運動場条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決	地方独立行政法人長野市民病院の経営状況の報告	○	○	○	○	○	可決	
	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決	公益財団法人ながの観光コンベンションビューローの経営状況の報告	○	○	○	○	○	可決	
	水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決	株式会社エムウェアの経営状況の報告	○	○	○	○	○	可決	
財産の取得(信州新町情報通信施設サーバ機器)	○	○	○	○	○	可決	公益財団法人長野市スポーツ協会の経営状況の報告	○	○	○	○	○	可決		
財産の取得(第一学校給食センター食缶等)	○	○	○	○	○	可決	請願(1件) 第15号) 期日前投票所の長野駅等への設置を求める請願	○	○	○	○	○	採択		
財産の取得(第一学校給食センター食器等)	○	○	○	○	○	可決	陳情(1件) 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	○	○	○	○	○	報告月日 7月31日		
財産の取得(高規格救急自動車(飯綱分署配置))	○	○	○	○	○	可決									

会派名等	議員数	所属議員名										
新友会	17	小林 義直 岡田 荘史 三井 経光 高野 正晴 小林 治晴	寺沢 さゆり	小泉 松田 和正	宮崎 松田 西脇	治夫 光平 篤	西沢 市川 青木	利一 和彦 敏明	公明党	5	松木 茂盛 塩入 学	布目 裕喜雄 鈴木 洋一
共産党	6	野々村 博美 滝沢 真一	阿部 孝二	佐藤 久美子	黒沢 清一	滝沢 真一	無所属A	1	小泉 一真	無所属B	1	西村 裕子
公明党	5	近藤 満里 小林 秀子	田中 清隆	松井 英雄	勝山 秀夫							

質問の要旨

9月定例会本会議では二十人の議員が質問に立ち、市当局と活発な論議を展開しました。その中から主な質問の要旨を紹介いたします。

なお、この文章は、基本的に質問議員自ら作成しており、行数は発言時間に比例しています。

個人質問

新友会 市川 和彦

問 札幌オリンピック招致の協議協力依頼について、市長の考えは

市長 互いに協議を開始するスタートラインに立ったところであり、具体的な内容はこれから詰めていくこ



札幌オリンピック招致に向け、活用について協議の協力依頼があったスパイラル

とになるが、努力できるところは協力していきたい。スパイラルを活用するための諸条件を整理し、活用策の協議がまとまれば、施設のあり方を国や競技団体等と協議する。

問 中核中核都市の機能強化への対応と民間提案型の開発事業における国の支援策の活用は

企画政策部長 ハンズオン支援を含む国の制度活用の検討が必要。IT産業等施策の有効活用など、研究を進める。

商工観光部長 地域未来投資促進法に関する支援は、民間事業者からの具体的な提案が必要であり、都市計画や農政分野との調整を踏まえ、検討することになる。また、産業団地開発は、現在、調査しており、年度内に一定の方向性を出したい。

※ハンズオン支援：中核中核都市の機能強化に係る事業ごとに、関係省庁などで構成する横断的な協議会を設置し、対象都市を直接支援すること
※地域未来投資促進法：地域の特性を生かして、高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する相当の経済的効果を及ぼす「地域経済牽引事業」を促進することを目的とする法律。

問 主要地方道長野菅平線の落合橋について、県への働きかけと今後は

建設部長 課題が多いが橋架け替えの早期実現に向け、県など関係機関に強力に働きかけを続けていきたい。

問 大豆島小学校の校舎整備計画は、
教育次長 将来的な校舎整備計画は、公共施設マネジメントの視点や、今後策定する公立学校施設に係る個別施設計画との整合を図りつつ、具体的な青写真を描いていく。

問 救急需要の実態を勘案した出勤態勢と職員配置の検討が必要では

消防局長 各署所等で出勤件数に相違があり、限られた人的資源の有効活用に向け職員配置体制を研究する。

共産党 阿部 孝二

問 Aさんは川中島町地区の畑五千四百五十平方メートルを購入し、太陽光発電への転用を農業委員会に申請した。民家に隣接し、パネルは三百ワットを千六十八枚設置して、三百二十・四キロワットの出力規模となる大きなもの。Aさんは地区の区長も同席した農業委員会中部調査会の席上において、住民が反対すれば建設しないと回答したが、住民の反対があったにもかかわらず申請は取り

下げなかった。住民の意見を反映した条例の制定を求める

環境部長 ガイドラインでは、設置者が事前説明会などを実施し、近隣住民から出された要望や意見に対し、適切に対応することを求めている。条例は、引き続き調査、研究していく。

問 市民病院に入院するとき、知人から保証人を頼まれる。保証人なしで入院できるように求める

保健福祉部長 入院時に身元保証人を求めるが、得られない場合でも、入院を認めている。

改革ネット 塩入 学

問 サンマリン利用料金改定で小学生は一回四百円を提案するが



夏季を除く平日昼間等の利用料金を改定したサンマリンながの



市の子育てに関する情報を1冊にまとめ配布している「長野市子育てガイドブック」

市長 指定管理者と相談し試行的に実施して効果を見るよう検討する。

問 丹波島橋の渋滞解消で、先の議会答弁の具現化の状況と決意は

市長 県と市ともに、喫緊の課題と認識。研究会を設置し、新橋を含め検討に着手することで意思表示する。

問 中山間地域の課題への対策は。過疎債の活用、特別対策の展開に特区の指定についての考えは

市長 第二次やまざと振興計画を策定した。地域の実情を踏まえ計画に基づき事業に取り組む。十三地区を支援中。過疎債は積極的に活用する。

問 小・中学校のトイレの改修状況と改修促進に向けた取り組みは

教育次長 洋式化率は五二・六％で計画的に整備する。

問 子育て先進都市をめざす考えは

消防局長 屋外等に設置することでいつでも使用できる環境にあることは効果的。しかし、盗難やいたずらは

問 公共施設に設置されているAEDをいつでも使用できるよう、屋外や学校の体育館への設置を求める

公明党 松井 英雄

市長 他市との比較ではなく、出産から子育てまで切れ目のない支援体制の充実で、安心の子育て長野市を実現する。

問 子育ての負担軽減と食育の観点から、小・中学校の給食費を無料化する思い切った施策を提案するが

市長 本市の給食費は十六億二千万円で、全て無償化は継続的な財源確保が困難。経済的理由による約一割の家庭には、就学援助制度で相当額を支給している。

問 緑町駐車場の利便性で千曲市のペDESTリアンデッキを例示した。本市でも市民の声を聞き検討すべき

市長 千曲市とは歩道橋の延長が異なり、第一庁舎二階の大幅なレイアウト変更が必要になる。今後も研究していく。

など諸課題が多く、施設管理者の判断に委ねる。

教育次長 体育館への設置は先行事例等を見極め、研究課題としていく。

新友会 つげ 圭一

問 松本市選管は松本バスターミナルで、中野市や千曲市の選管はスーパーマーケットで、飯田市選管では飯田女子短大に、期日前投票所を開設した。大勢の人が集まる商業施設などに開設を行う他市に対し、広く二十七支所で開設する長野市としては力点の違いがある。過去最低の投票率、一方で過去最高の期日前投票数。四人に一人以上が期日前に投票を行う状況をどのように分析するか

選挙管理委員長 先日の参議院議員

の選挙では、商業施設や大学などに期日前投票所を設置する例が多く見られた。これらの新たな期日前投票所を開設した県内他市の最終的な投票率は、前回の同選挙よりも低く、商業施設等での開設は投票環境の向上には寄与しているものの、現状では必ずしも投票率全体の向上にはつながらないものと考えている。本市では、市内各地区のどの支所でも投票できる環境を整えており、



本庁舎1階に設置された期日前投票所

最も身近な公共施設である支所での期日前投票のあり方について、理解をいただいていると考えている。

新友会 山本 晴信

問 人口減少社会における本市財政運営上の想定しうる課題は。また、財政硬直化の対策は

財政部長 義務的経費等の増加から、令和3年度以降は収支状況が悪化し、実質収支が見込めず、先を見通すと従来の行政サービス水準の維持は困難。行政全体のスリム化、集約化を図り、大胆な施策の実施が必要。

問 千年に一度の降雨への備えとして新たな洪水ハザードマップが提示されたが、市民への周知は。また、農業用ため池の安全対策は

危機管理防災監 市ホームページや新聞等への掲載のほか、地区への説明もしている。農業用防災重点ため池は六十四カ所が指定。ため池ハザードマップを作成し該当地区に配布。県と連携し、ため池監視システムや緊急連絡網の整備を順次進める。

共産党 黒沢 清一

問 長野市子ども権利条例の制定は市長 引き続き県と連携を図り、関係法令や県条例に基づき対応する。

問 市内の若年層の自殺率が高い原因は。自殺対策の取り組みや課題は

保健所長 原因について正確に分析することは困難。子どもたちの発したSOSを見逃さず、しっかり受け止められるよう、保護者、学校関係者、地域等の大人への啓発や研修を行い、連携を強化することが必要。

問 児童センターなどのすし詰め状態を計画的に解消すべきでは

こども未来部長 向こう五年間の量の見込みに確実に対応できるように、必要な居室の確保に努めていく。

問 国民健康保険への法定外繰り入

れを今年度一億二千万円削減したが、削減せず国保料の軽減こそ必要では

保健福祉部長 国保財政の健全化による安定した制度の運営を進めるとともに、国の財政支援の拡充が図られるよう、引き続き取り組む。

公明党 勝山 秀夫

問 今年度、ポンプ操法大会の事前練習の削減を実施した。今後も負担軽減が確認できるまで対策をすべき

消防局長 今後も分団から意見を聞きながら研究し、負担軽減に努める。

問 渋滞解消と安全性から北部幹線第二区間の早期開通が必要。予定は

都市整備部長 地元の合意と地権者の了解を得ながら事業を検討する。

新友会 中野 清史

問 長野市美術館の空間デザイン工事について、調査と内容を伺う

総務部長 視察等の調査はしていないが、いくつかの施設を参考にしたい。必要不可欠な改修に努めたい。

問 美術館監督、総支配人がかわる

中、職員の雇用形態等について伺う

文化スポーツ振興部長 現在二十五人の職員を雇用。内訳は正職員二人、常勤契約職員十六人、非常勤パート職員七人。平成28年の開館当初から在職している職員が十三人。十二人が離職している状況。

問 中山間地域の公共交通のあり方と交通機関の再編について伺う

都市整備部長 地域住民の積極的な利用をお願いするとともに、行政も引き続き再編の支援を行っていきたい。

新友会 松田 光平

問 篠ノ井公民館は交流センターと改称したが、周知が不十分。案内看板など必要と思うが所見を伺う

教育次長 篠ノ井交流センターは工事中だったため、今後、看板の書き換えを行う。周知の工夫も必要と考えるので今後取り組む。

問 長野市は広域化しており、政令市の区政のようなガバナンス概念が必要と考える。政令市をめざすというような市長の挑戦を伺う

市長 長野の未来のために挑戦すべきことは、経済・産業の基盤を強固にし、市民誰もが活躍できる社会をつくること。市民が活躍するためには健康が大切。二期目の公約は将来を見据えて実現したいことや解決すべき課題で、取り組むことで市民が幸せを感じることが夢。使命感をもつて幸せ実感都市長野を実現する。

無所属 西村 裕子

問 障害のある方が就労する事業所に送迎がないと、就業時間が短いために家族が離職して送迎するしかないことがある。この問題について長野市障害ふくしネットで調査を実施し、結果を障害福祉計画に反映することを提案する

保健福祉部長 長野市障害ふくしネットの取り組みの中から出てくる意



篠ノ井交流センターが入る篠ノ井総合市民センター

見を聞いて支援策を検討する。障害福祉計画策定についても意見を聞いて対応していく。

新友会 手塚 秀樹

問 小学校における教科担任制導入の考えと見通しは

教育次長 本年度に試行実施している小学校は三十三校と増加し、関心は高まっている。中央教育審議会部会では専門性、質の高い教育の実現には児童の発達段階を考慮の必要があり、そこに教科担任制の意味があるとするが、本市も同様の考え。

問 真田宝物館の建て替えは。また、泉水・泉水路の保存整備は

教育次長 公共施設再配置計画の計画工程では、松代城跡第二期保存整備事業終了後に検討予定。城跡の整備事業の行方を見定めながら、具体的な取り組みを考えていく。泉水・泉水路は地元と継続的に協議を行い、連携、協力して水路網維持に努める。

公明党 小林 秀子

問 頼る人のない子育て世代や単身高齢者が増え、地域の支え合いが重



福祉移送の運転ボランティアの様子（古牧地区）

要。一方元気な高齢者も増え、生きがいと助け合いを両立できる仕掛けづくりが必要。かねてから提案のボランティアポイント制度はいかがか

保健福祉部長 地域の支え合い活動

の推進には新たな担い手の確保や元気な高齢者の社会参加が不可欠。制度がもつ可能性を引き続き研究する。
※介護支援ボランティアポイント制度
…高齢者が地域のボランティア活動を行った実績に基づいてポイントを付与し、当該ポイントを換金することで、その活動を支援する制度。高齢者の社会参加や介護予防への意欲を高める効果が期待できる。

無所属 小泉 一真

問 私はスパイラルの活用による札



長野電鉄本郷駅の階段

幌五輪分散開催について平成28年3月議会以来、研究を進めるべきと主張。今般札幌市から協議があった。経済効果等の一方でデメリットもあるとの答弁だが、五輪は来ては困るのか、積極的に呼び込むべきなのか

新友会 北澤 哲也

問 長野電鉄本郷駅は二階に改札がある橋上駅舎で、階段のステップが

市長 オリンピックを開催した都市として喜ばしいこと。依頼事項を含めて、できるだけ協力していく。もう少し内容を詰めて進めていきたい。基本的には積極的に対応する。

崩れている。バリアフリー化を進めるための支援、計画などを伺う

都市整備部長 長野電鉄では利用者の利便性向上のため、橋上駅舎をやめ、スロープや多機能トイレを設置し、バリアフリー化を計画。市では引き続き国と協調して支援していく。

問 もんぜんぶら座は営業したまま館内のアスベスト除去作業を行うがこの計画内容や市民への周知方法など、耐震補強改修工事の進め方は

都市整備部長 アスベスト除去に伴う館内及び敷地周辺の安全性は、関係法令等に従い適切に施工することで十分確保されると認識しており、改修工事の中で実施予定。

公明党 近藤 満里

問 発達障害児支援機関における専門家の充実について伺う

保健福祉部長 人材確保は難しいが、県と連携しながら必要な専門職を確保し、相談体制の充実を努める。

問 保育士不足対策として事務職員の雇用が有効ではないか

こども未来部長 現在事務量の把握

等実施。職員の配置等具体的に検討。

改革ネット 鎌倉 希旭

問 市指定史跡の中にある古木の管理の現状と今後の対策は

教育次長 経費の補助のほか、市委嘱のパトロール員が巡回している。樹木医の診断を受けて対処方法を所有者に働きかけ、維持管理に努める。



旧山千寺観音堂及び境内（市指定史跡）にある信玄駒つなぎの桜

問 二〇二二年は善光寺御開帳、戸隠式年大祭と好機を迎える。観光地の一体的なPRが重要だが戦略は

商工観光部長 二つの観光スポットを一緒にPRすることは重要。前回の御開帳では式年大祭の情報を掲載

し、御開帳宣伝キャラバンでPRした。今後も両奉賛会や各地観光協会と連携し、積極的なプロモーションを展開していきたい。

共産党 野々村博美

問 全ての方に幸せを実感していただける都市をめざすとしているが、弱者を切り捨てての市民生活の向上はない。かつての人工透析患者などへの見舞金一万五千円、在宅福祉介護料十三万五千円の復活を求めたい

市長 社会の変化、状況、国の動向を見定め、時代に合った施策を展開していきたい。

問 高齢者の足の確保は早急に必要。住民の話し合いにより、ルートもダイヤも運賃も決める岐阜市のぎふっこバスを紹介し、特別委員会としても視察した。大切なことは市と事業者の話し合いで決めるのではなく、地域住民自らが主体となって話し合い、それを長野市が全面的に応援すること。まず、モデル地域の実践を求めたい

市長 地域の皆さんが自分たちのことは自分たちでやるという気持ちをもっていたら、支援ができるもの

は支援していきたい。

公明党 田中 清隆

問 福祉まるごと相談窓口の設置は

市長 国の動向を注視しながら、包括的な支援体制づくりを進める。

問 ひきこもりの現状と対策は

保健福祉部長 本市のひきこもり状態の人は約三百三十人。相談しやすい環境づくりをはじめ、県とも連携しながら必要な支援を進める。

問 新生児聴覚検査の公費助成は

保健所長 4か月児健康診査で少しでも疑いがあれば全額公費による精密検査を実施しているため、公費助成は考えていない。

問 紙おむつの保育所内処分は

こども未来部長 保護者及び保育士の負担軽減を含め、研究する。

新友会 岡田 莊史

問 (仮称)若穂スマートインターチェンジ設置の現状と今後は

建設部長 準備会で整備効果の精査などの作業を進めている。地域にと

ってプラスとなる整備計画を作成し、早期に国から新規事業化箇所として選定されるよう取り組んでいく。

問 グライダーワールドカップは

市長 関係者から情報を収集するなど調査研究するとともに、グライダーの魅力発信と普及に努めていく。



離陸前のグライダー（若穂多目的広場）

市議会本会議は、市ホームページの「長野市議会」の議会中継でご覧いただけます。常任委員会は、録画でご覧いただけます。

また、本会議及び各委員会の詳細については、ホームページの会議録検索をご覧ください。

(注) 9月定例会の本会議及び各委員会の会議録検索へのアップは、12月下旬以降順次行予定です。

審議結果については、4頁の審議結果一覧を併せて参照ください。

常任委員会のうごき

建設企業委員会

●本年8月6日に国土交通省から、長野環状道路・東外環状線の一部を構成する一般国道一八号長野東バイパスの車道部について、令和2年度末の開通を目標に進めていくという期待の発表があった。市では、国と連携して実施中の東外環状線関連事業について、令和3年4月4日から開催される善光寺御開帳に合わせて進めていく予定である。今後も、歩行者の安全な通行に必要な歩道整備や将来的な四車線化等を含めたさらなる事業促進に向けて、引き続き、国に働きかけを行い、連携して取り組んでいくよう要望した。

●鉄道駅バリアフリー化設備等整備事業補助金について、長野電鉄長野線本郷駅では、高齢者・障害者の移動等を円滑にするバリアフリー化や駅利用者の利便性向上を図るため、長野電鉄株式会社が実施する事業に対し、市は国と協調して補助を行ううとしている。今後も同路線において、さらなる利用促進を図るため、必要となるバリアフリー化等の事業が計画的に実施されるよう、引き続き、国と協調した行政支援を行っていくよう要望した。

総務委員会

●議案第九十三号について、市役所で働く非常勤職員の任用制度が、来年4月から会計年度任用職員制度に変わることで、勤務時間が短くなり、年収が減少する事例が見込まれるため、今後改善するよう要望した。

●防災行政無線のデジタル化工事によって、聞こえづらさの解消が見込まれる反面、音が届かない地域は残るため、難聴地域の市民に対し、地域の共助を支援するとともに、様々な方法による対応の検討を要望した。

●二〇四〇年問題を見据えた市の将来展望について、次代を担う若い世代の意見を聴き、各施策に反映させるよう要望した。また、今後採用される戦略マネージャーについて、民間企業での経験、外部の視点など、持ち味を發揮し、実効性のある計画策定や市民が実感できる成果が得られる取り組みを要望した。さらに財政推計について、税収が減少し扶助費や公共施設の更新費用などの増加から、令和3年度以降は収支状況が悪化する見込みのため、より適切な行財政運営に取り組みよう要望した。

●請願第十五号は、全員賛成で採択すべきものと決定した。

福祉環境委員会

●幼児教育・保育無償化については、3歳から5歳までの子どものほか、ゼロ歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもが対象となること、対象施設は保育所、幼稚園、認定こども園のほか、認可外保育施設等も含まれることなど、制度が複雑になっていることから、対象児童の保護者への周知徹底や対象施設と十分な連携を図り、幼児教育・保育の無償化が円滑に実施されるよう要望した。

●長野市資源再生センター火災に係る検証と今後の対応については、警備会社との契約内容の変更など、今までの体制を見直すとともに、火災発生時に迅速な消火機関への通報を可能とするごみピット遠方監視設備の設置などにより、同じような火災を起さぬよう、万全な体制の整備を要望した。

●地方独立行政法人長野市民病院については、市や関係機関とも連携し、ハザードマップを踏まえ、事業継続計画の見直し等を行うよう要望した。

●放課後子ども総合プラン事業については、市民ニーズを的確に把握し、引き続き、希望児童の受け入れ体制の整備を進めるよう要望した。

経済文教委員会

●長野市戸隠観光施設事業会計は赤字経営が続いている状況であり、事業の中でも戸隠スキー場の昨年度利用者数は、グレンデオオープンの遅れ等の影響により前年度と比較すると減少した。今後指定管理者は、収支改善のためにスノーマシンの導入やリフト券の割引率の見直し等を検討していくとのことであるので、事業収支黒字化に向け、戸隠スキー場の利用客の増加を図るよう要望した。

●長野市の空はグライダーの飛行条件に恵まれており、大学生やグライダー愛好家が多く訪れていることから、この長野市の環境や施設を有効活用したグライダー競技の開催の検討について要望した。

●豚コレラについて、長野県内の発生状況、経口ワクチンの散布による野生イノシシ対策などについて報告があった。なお、豚コレラの感染が拡大し、長野市の一部が検査対象区域に含まれた場合には、長野市ジビエ加工センターへのイノシシの受け入れを中止することであった。今後、豚コレラの感染拡大が懸念されるため、感染拡大防止のための対策を講ずることを要望した。

特別委員会のうごき

農林業振興対策 特別委員会

9月定例会では、豚コレラの状況、農業次世代人材投資事業及び森林事業の活性化について調査した。また、一年間の調査・研究で出た意見を集約して要望等した。

●林業振興について、長引く木材価格の低迷や森林所有者の高齢化、所有森林の管理等に対する意識低下等から手入れのされない森林の増加が課題となっている。本年4月、森林経営管理法が施行されたことから、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を進めるとともに、長野市産材の認証制度等の仕組みづくりを積極的に研究すること。

●農業振興について、農業振興アクションプランを策定して取り組んでいるが、農業委員会との意見交換会で農業政策に関する要望をお聞きした。引き続き長野市農業振興条例の基本理念の実現に向けて多様な担い手づくり等に取り組むこと。

●ジビエ振興について、本年2月に中条地区に長野市ジビエ加工センターが竣工し、8月下旬頃から主に事業者を対象としてジビエの販売が始まる。今後、地元等と連携し六次産業化を視野に入れた展開を望む。

公共施設の在り方 調査研究特別委員会

9月定例会では、個別施設計画となる長野市公営住宅等ストック総合活用計画（案）、飯綱高原観光施設整備計画（案）と同事業の事業者選定を行う長野市PFI事業等審査委員会、さらに公共施設について考える地区別懇談会の状況について調査した。また、一年間の調査・研究で出た意見を次の二点に集約して要望した。

●市民合意形成においては、市民の理解を得ながら進めていくことが重要であることから、説明機会の充実や分かりやすい説明に努めるとともに、市民ワークショップ等の開催にあたっては、地区の実情を踏まえながらも、多くの市民が参加でき、より多くの意見がいただけるよう工夫すること。

●将来の建て替えコスト縮減のためには、施設総量縮減だけでなく計画的な保全と長寿命化も重要であることから、昨年度導入した公共施設整備事前協議制度を活用し、計画的・効果的な予防保全に努めるとともに、建築基準法第十六条点検や日常的な点検の実施により、適切な保全に努めること。

小・中学校の在り方 調査研究特別委員会

本委員会が継続的に調査を実施してきた「少子化に対応した子どもにとって望ましい教育環境の在り方について（審議のまとめ）」について、これまでに出された意見を9月定例会において次のように要望した。

●現在、教育委員会が市内各地で実施している審議のまとめの説明会について、速やかに地区ごとに一定の方向性が出されるよう、いち早く保護者との対話のステップへ移行し、時期的な目標をもって取り組みを進めていくこと。

●保護者との対話において、教育委員会は保護者に寄り添い、専門家として教育的見地から助言を行うこと。

●地区ごとに出される一定の方向性について、児童・生徒や就学前の子どもへの保護者の声を尊重すること。

●出された一定の方向性に沿った教育環境の整備について、教育委員会が責任をもって速やかに行うこと。

また、議会においても、子どもたちが豊かな教育環境で学び育つことができるよう、活力ある学校づくりを行政や保護者と一体となって強力に推進していく必要があることを報告した。

まちづくり対策 特別委員会

9月定例会では、一年間の調査・研究で出た意見を集約して要望した。

●市街地総合再生基本計画の策定においては、中心市街地全体の活性化に向けた最適なゾーニングと、役割や機能を明確にしたグラウンドデザインを描くこと。

●中心市街地の活性化はそこに住む人たちとの信頼関係の上で進めていくことが必要不可欠なため、特段の配慮を心掛けて事業を進めること。

●長野県立大学等の開学を契機に若い世代が増加しているため、住環境の整備や通学時の移動手段確保の取り組みをさらに進めること。

●本年4月から導入したバスロケーションシステムの普及をさらに進めるため、十分な周知と使いやすさの改善について検討すること。

●ぐるりん号の外周部に居住する住民の足を確保するため、ぐるりん号のバス停につながる乗合タクシー等の構築や路線バスとの接続が十分に配慮されたダイヤの見直しを検討すること。

●住民が参画できる持続可能な移動手段の体制を事業者、行政、地域が一体となって構築すること。

◆ 経済文教委員会

商工観光部、文化スポーツ振興部、農林部、教育委員会、農業委員会に関すること。



- | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------|------|--------|-------|----|-------|-------|---------|---------|-------|----|
| 堀内 伸悟 | 寺沢 さゆり | 若林 祥 | 野々村 博美 | 三井 経光 | 後列 | 箱山 正一 | 鎌倉 希旭 | ◎ 松井 英雄 | ○ 金沢 敦志 | 黒沢 清一 | 前列 |
|-------|--------|------|--------|-------|----|-------|-------|---------|---------|-------|----|

◆ 建設企業委員会

建設部、都市整備部、上下水道局に関すること。



- | | | | | | | | | | | |
|-------|--------|-------|-------|--------|----|-------|---------|---------|--------|----|
| 西沢 利一 | 西脇 かおる | 和田 一成 | 勝山 秀夫 | 佐藤 久美子 | 後列 | 倉野 立人 | ◎ 市川 和彦 | ○ 滝沢 真一 | 布目 裕喜雄 | 前列 |
|-------|--------|-------|-------|--------|----|-------|---------|---------|--------|----|

◆ 総務委員会

総務部、企画政策部、財政部、地域・市民生活部、会計局、消防局、議会事務局、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員に関すること。他の常任委員会の所管に属しないこと。



- | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|------|-------|-------|----|-------|-------|---------|---------|------|----|
| 小泉 一真 | 小泉 栄正 | 塩入 学 | 加藤 英夫 | 小林 秀子 | 後列 | 松木 茂盛 | 阿部 孝二 | ◎ 手塚 秀樹 | ○ 松田 光平 | 桜井 篤 | 前列 |
|-------|-------|------|-------|-------|----|-------|-------|---------|---------|------|----|

◆ 福祉環境委員会

保健福祉部、こども未来部、環境部に関すること。



- | | | | | | | | | | | | |
|--------|------|-------|-------|-------|----|---------|-------|---------|---------|-------|----|
| 東方 みゆき | 竹内 茂 | 小林 史子 | 青木 敏明 | 小林 義直 | 後列 | グレート 無茶 | 宮崎 治夫 | ◎ 北澤 哲也 | ○ 鈴木 洋一 | 近藤 満里 | 前列 |
|--------|------|-------|-------|-------|----|---------|-------|---------|---------|-------|----|

新しい議会構成②
議長 小泉 栄正 副議長 宮崎 治夫
市議会には常任委員会と特別委員会が置かれています。10月臨時会では議長・副議長と各委員会の委員が新たに選任され、議会の構成も変わりました。正副議長と常任委員会の委員を、各委員会の所管事項とともに紹介します。

編集委員 松田 光平 鎌倉 希旭 小林 秀子
副委員長 手塚 秀樹 市川 和彦
つげ 圭二 竹内 茂 小泉 一真

「市議会だより」第百八号をお届けします。今回は、9月定例会と市議会議員改選後の10月臨時会の内容です。それぞれで活発な議論が展開されました。編集委員の任期は9月までです。以後は新しいメンバーになりますので、このメンバーでの編集は今回が最後となります。今後もしっかりと、親しまれる紙面づくりをめざし、研究を進めてまいります。皆様のご意見をお待ちしております。

12月市議会定例会 会議予定

11月28日(木) 本会議(会期の決定)
議案(上程)

12月29日(金) 12月5日(木) 休会
12月6日(金) 本会議(一般質問)
7日(土) 8日(日) 休会
9日(月) 本会議(議案質疑等)
10日(火) 委員会(福祉環境・建設企業)
11日(水) 委員会(総務・経済文教)
12日(木) 15日(日) 休会
16日(月) 本会議(採決)

※令和元年台風19号の影響により、広報ながの(令和元年11月号)でお知らせした会議予定から変更になっています。

● 日程案は変更とすることがあります。
● 「請願」「陳情」を希望する人は開会日までに提出してください。
● 傍聴は開催当日、次のところで受け付けます。
・本会議：第一庁舎8階(傍聴席入口)
・委員会：第一庁舎7階(議会議務局)
● 乳幼児一時預かりサービスは、利用を希望する対象保育所等へ直接お申し込みください。手話通訳及び要約筆記サービスは、傍聴希望日の3日前までに議会議務局へお申し込みください。(いずれも無料)

長野市議会 検索

長野市議会ホームページ
http://www.city.nagano.nagano.jp/site/gikai/
E-mail: gikai@city.nagano.lg.jp